



桜が丘小学校 令和5年度 学力向上プラン

～学力の定着・向上とよりよい生活習慣・学習習慣の確立のために～



学校では

基礎・基本の定着をめざして、ⅠとⅡを重点的に取り組んでいきます。

Ⅰ 基礎・基本を定着させます！

- 1 音読や暗唱、AIドリルの活用を積極的に取り入れます。（授業・家庭学習）
- 2 漢字・計算の反復練習に取り組ませます。
- 3 ミニテストなどを定期的の実施し、習熟の状況を把握します。
- 4 朝の国語・算数タイムにおいて、基礎問題やチャレンジ問題に取り組ませ、既習事項の定着を図ります。

Ⅱ 授業の充実を図ります！

- 1 問題解決的・体験的な学習を意識し、思考力・表現力を育成します。
・学習の目標と成果（めあてとまとめ）を明確にします。
・自分の考えを持つために、書く活動を取り入れます。
・ペア・グループ学習など学び合う場を設けます。
- 2 1単位時間の学びがわかる板書づくりを行います。
- 3 授業においてデジタル教科書や書画カメラ、大型テレビを活用します。
- 4 学年の発達段階に応じてChromebookを使用し、調べ学習や発表を行います。
- 5 学校図書館司書を積極的に活用し、読書活動の充実を図ります。

Ⅴ 取組内容（重点目標）

	学校全体としての取組	各種調査結果を踏まえた取組
【国語科】	・朝の国語タイムで、Chromebookを活用して習熟を図る。 ・漢字小テストを定期的に行い、定着を図る。 ・低学年100冊、中学年70冊、高学年50冊の目標貸出冊数を設定し、読書活動を推進する。	・既習の漢字は日々の学習の中で使うよう指導する。 ・聞いたり読んだりするときに、要点などを考える時間を十分にとる。 ・文章を図と結び付けるなど、文章構成に着目する手立てを打つ。
【算数科】	・朝の算数タイムで、Chromebookを活用して習熟を図る。 ・言語活動を充実させ、概念等の定着を図る。 ・一斉指導と個別指導を組み合わせ底上げを図る。	・数直線や図を活用させ、数量関係をしっかりと掴ませる。 ・概念の説明、方法の説明など自身の学びを言葉でまとめさせる活動を行う。 ・算数科の学習用語や求積の公式を反復して学習に取り入れる。
【理科】	・観察や実験など実感を伴う授業を実践する。 ・理科の学習用語を用いて、観察や実験結果、概念をまとめる。 ・理科で学習したことを実生活と結び付けて考えさせる。	・実生活と結び付けた問題設定や結果の考察を行わせる。 ・観察や実験結果、概念をまとめる時間を意図的に設定する。
各教科	・発表する際には、学習用語を用いて、根拠を基に自分の考えを述べるよう指導する。 ・学び合いの場を授業の中で意図的に設定する。 ・Chromebookを毎日活用する学級の数値目標を90%とし、分かりやすい授業、児童が主体的に活動する授業を行う。	

家庭では

子どもの安定した生活リズムや学習習慣の確立へⅢとⅣを進めます。

Ⅲ 生活リズムを整えましょう！

- 1 早寝・早起きをしましょう。＊適切な睡眠時間の確保を！
- 2 朝食をしっかりととりましょう。
- 3 外で元気に遊ぶ（体を動かす）時間をつくりましょう。
- 4 メディア（テレビ、ゲーム、スマートフォン等）に触れる時間などルールを決めましょう。
- 5 **よりよい生活の在り方を家族で一緒に考えていきましょう。**

Ⅳ 家庭学習の習慣をつけましょう！

- 1 毎日の家庭生活の中に、学習する時間を位置づけましょう。
○学習時間の目安 学年×10分以上（例：6年生…60分以上）
- 2 勉強のときは、
○テレビは消しましょう。 ○よい姿勢でしましょう。
○勉強する場所は整理整頓しましょう。
- 3 学年や発達段階に合わせて、自主学習に取り組んでいきましょう。
高学年では、自主性や課題解決に取り組む態度の育成を目指しましょう。
- 4 以下のようなものも学力向上のために効果的です。
○家族10分読書 ○辞典類を身近に置いておく
○ニュース番組や新聞記事について親子で話し合う